

世界史 授業 No.88 テーマQ.&A.プリント

1. 今日のテーマ・クエスチョン

ピョートルとエカチェリーナの国づくりとはどのようなものか？

2. テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ

※教科書該当ページ（P. 144）の中から見つけよう！

ロシアでは、16世紀にイヴァン4世（雷帝）が貴族をおさえて専制政治の基礎をかため、領土を南ロシアやシベリアの一部にも広げた。17世紀にはロマノフ朝が成立し、ピョートル1世（大帝）はみずから（ 1 ）を視察し、これを模範に改革をすすめた。ピョートルのもとでロシアは軍備の増強とさらなる領土の拡大をすすめ、東方では中国の清朝と（ 2 ）を結んで国境を定め、また南方ではオスマン帝国を圧迫して黒海沿岸に進出した。さらに、（ 3 ）をおこしてスウェーデンを破り、バルト海の覇者となって、東欧・北欧の大国としての地位をかためた。

18世紀後半帝位についたエカチェリーナ2世は、ピョートルの事業をうけつぎ、南方では（ 4 ）をオスマン帝国からうばい、東方ではオホーツク海まで進出し、日本にも使節をおくった。エカチェリーナも治世の初期には（ 5 ）としてさまざまな改革をこころみだが、プガチョフの農民反乱の後には逆に（ 6 ）を強化した。

<記入欄>

1 () 2 () 3 ()
4 () 5 () 6 ()

3. 今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認

※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T. Q. 「ピョートルとエカチェリーナの国づくりとはどのようなものか？」

T. A.

自らも訪欧して〔① 〕化を進めたのがピョートル1世（大帝）で、〔② 〕君主として進歩的改革を実施したのがエカチェリーナ2世で、ともに後進国ロシアの強国化に努力し、トルコとの戦いにも勝利した。しかし両者は〔③ 〕制を強化し、エカチェリーナ2世の時には〔④ 〕の乱が起きた。さらに西欧では〔⑤ 〕革命も始まって、彼女はロシアに革命が波及することを恐れ反動化した。

<記入欄>

① [] ② [] ③ []
④ [] ⑤ []

[] 年 [] H No. [] 氏名 []